

件名	墨田で安心して子育てができるための施策の拡充に関する請願		
提出者 住所氏名	墨田区押上三丁目4番8-601号 すみだの保育を考えるネットワーク 代表 伊藤 正幸 外13,445人		
受理年月日	平成19年11月16日	受理番号	第2号
紹介議員	高柳 東彦		
<p>要旨</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 保育園に入れない子どもをなくすために、計画的に認可保育園（公立、社会福祉法人立）の新設や増改築を行い、定員を大幅に増やしてください。 2 地域で身近に子育て支援・子育て相談ができる拠点を計画的に増設してください。 3 次世代育成支援行動計画の達成状況を明らかにしてください。また、後期計画の策定に当たり、区民、保護者、保育関係者の意見をより一層反映させる仕組みを検討してください。 4 私立保育園の補助金を増額してください。 5 すべての保育施設にオートロックを付けるなど、子どもの安全を守るための対策を強化してください。 <p>（理由）</p> <p>今年4月の時点における保育園の入所待機児童数は、140人となっており、低年齢児、南部地域を中心に大変深刻な状況にあります。この数値には含まれていない認証保育所は、施設の面積基準や保育士配置基準が保育所認可基準を下回っています。また、保育料も高額で保育の質についてもばらつきがあり、不足している認可保育所の補完的役割は果たしていても、代替機能を完全に担っているとは言いがたいのではないのでしょうか。</p> <p>近年、区内のマンション建設が急激に増加し、今後、一層保育園不足、待機児童の急増が進行することが懸念され、公私立の認可保育園の計画的整備が必要と考えます。</p> <p>墨田区の次世代育成支援調査報告書（平成16年3月）によると子育て世代の世帯構成は、核家族世帯が7～8割を超え、子育ての悩み・心配事を相談できる相手がないなど、子育て世帯の孤立化の問題が顕在化し、子育てストレスが虐待を生む要因とも言われています。現在、地域における子育て支援・相談機能を持つ区立施設は、子育て相談センター2か所と子育て支援総合センターがありますが、設置されている施設数は不足しており、より身近な子育て支</p>			

援・相談拠点を計画的に増設することが緊急に求められているのではないで
しょうか。

次世代育成支援行動計画が策定されて3年目となりますが、何が達成されて、
何が課題として残されているのかが住民から見て分かりにくいのではないで
しょうか。今日における達成状況を項目ごとに区民に明らかにすることが必要と
考えます。また、後期計画の策定に向けて、前期計画より更に、区民、保護者、
保育関係者の意見を反映させる仕組みづくり(子育て世代の公募委員を増やす、
区民懇談会を数多く開催する、保育関係者と懇談を行う等)をぜひともご検討
ください。

私立保育園に対する補助金がこの間、大幅に削減されています。特に東京都
が独自に行っていた公私格差是正制度廃止とサービス推進費への再構築、更に、
その後の人件費補助の廃止などにより、補助金が減額され、私立保育園は大変
厳しい経営を強いられています。また、職員の処遇の改悪にもつながっており、
保育の質の低下が懸念されます。国、都への補助金拡大への働きかけを含めた
区としての改善に向けた取組みを求めます。

区内の全保育施設において、安全で安心して子どもを預けられるように、万
全の対策が必要です。不審者の侵入を阻止するための有効な手段であるオート
ロックの設置をはじめとする適切な対策を行うための予算を確保してくださ
い。

以上の趣旨をご理解の上、上記事項の実現をお願いいたします。

以 上